

日七十月八

# 常警每日新聞

定価 一月五拾五銭 郵費五銭  
 廣告料 五拾五銭 一行五拾五銭  
 日曜祭日の翌日休刊  
 発行所 常警毎日新聞社  
 印刷所 常警毎日新聞株式会社

## 有識者の反省

磐岳 迂人

例へば、早い話が今日は立憲政治の時代であつて選挙は公平でなければならぬ、自治公民の精神はもたねばならぬといふ。ところが、かく云ふ識者が選挙に當つて、自己の一票を清く投ずることを敢へてしてゐるかといふに随分さうでない。碌な候補者がないから投票出来ぬといふ、さういふ場合もあるかも知れぬがどんな候補者があるか、考へたことも調べたこともない。自己の責任を本當に考へてのことではない。又云ふ、俺一人が投票しても、どうせ落選するから、つまらないといふやうなことを云つて馬券を買ふが如く勝

關心な態度をとつてゐるものもある。自己の一票に心をそそいでゐるものはないところか、それでも選挙の公正とか、神聖とかは語るだけは語る。さういふわけだから本當の力は出て來ない。これは一例である。その他思想問題の取扱といひ、社会生活の改造といひ、各般の事柄について考へて云ふ限りは、せめて自分だけ

明日の献立

【朝】 味噌汁 しじみ  
 【晝】 卵の花煎り 櫻えび  
 【晩】 天ぷら 海老 あなご  
 ごきす 割醬 胡瓜  
 甘酢 花かつを

## ノート

率先して 滿洲國を承認したサルヴァドルは中米の共和國人口は百四十八萬主産物は珈琲地震の多い國だ

ちさうな馬に當てゝ見やうといふやうな考へすら持つてゐる。どうせ我々がやつたとて甘く行けるものではないといふやうな極めて無

關心な態度をとつてゐるものもある。自己の一票に心をそそいでゐるものはないところか、それでも選挙の公正とか、神聖とかは語るだけは語る。さういふわけだから本當の力は出て來ない。これは一例である。その他思想問題の取扱といひ、社会生活の改造といひ、各般の事柄について考へて云ふ限りは、せめて自分だけ

的には尋もつかず、お互に困つたことだと云ふに止まる事が多い。各種の非合性的な、各種の危険な思想行動があらはれ、各種の不正な事件があらはれるに於いて、その行動の原因をつきとめることが必要だが、いはゆる有識指導者が自己の言論について責任を感ぜず自己の行動について顧みるところ少く、その場限りの甘いことを云ひ合つて居ることにも少なからざる病原のあることを思はざるを得ない。【完】

短歌 栗原 茅村

静かなる水面へだてゝ朝の日は向うの村を照しそめたり

ふるさとの淋しき驛にありたてば波うつ稲田の風の冷たさ

弟等の母の肩揉みみてあれば幼き頃のなつかしきかも

唐きびの葉すれさやかに朝風は我が居る窓に入りて來りぬ

いたつきの母につかへて十五夜の月見の事も忘れてありぬ

### 外科 内臓外科

## レントゲン線

醫學博士 諸橋 鐵彌

◎新川町二七(電四六四)

◇備完室病◇

### 提灯

御新佛の戒名人 大勉強  
 岐阜提灯各種

角形一對 二、五〇〇リ 二〇、〇〇マデ  
 瓜形一對 一、八〇〇リ 六、〇〇マデ

尙御好みにより値も品も色々に調製致します  
 御電話下されば早速見本持參御伺ひ致します

### スガノヤ提灯店

平四、電九五番

### 佛壇 位牌 佛具 特賣

漆器 佛具 卸商 共榮漆器店

早い目が御得です。品種豊富、撰擇御自由、  
 平町三丁目三六(北裏)

### 木村病院

入院隨意 病室完備

平町新川町十九

電話一六四番

産科 院長 木村寅次郎  
 婦人科  
 外科 醫學博士 内木宗八  
 藥局 藥劑師 立番彌一

### 謹告

東京日々新聞支局長橋本信一郎君今般郡山支局長に榮轉近日赴任の筈に付同君の爲め左記により送別會開催多數御出席仰度此の段謹告致します、尙御出席の方は當日正午迄平町役場内記者室宛御申込み下さい

發起人 平町長 青沼鋒太郎  
 平署長 横山宗延  
 平日刊記者團當番幹事

一、期日 八月十八日 午後六時  
 一、會場 谷口樓  
 一、會費 二圓也

### 吸入用酸素純度 99%

度量 モノサシ  
 度量 器量計 體溫計  
 度量 器量計 寒暖計

秤ノ取緒・垂糸・修繕致シマス

### 関内藥局

電話四〇番

寫真材料一式販賣致シマス

### 玉屋洋品店

平町田町通電話六五六番

●店員募集

年齢十五、六才、希望者は至急來店あれ



### 現状に鑑みて平局 電話七回線を増加

従來の輻輳から救はれん  
會社商店の便益重大

平地方の商取引の旺盛と電話利用の普及とにより平局の電話通信が極めて輻輳してゐることは既報したが同局では之が對策に就き種々上局と打合せた結果過般廢止になつた大日本無線電信の東京—原町線を借受け今秋十月末までに東京—平—二回線平—原町三回線の増線が實施されることに決定更に之を機會に高萩—平、

### 七夕祭視察に 平瀧から五十名

けふ大舉自動車で來平

平町の誇り—去る十五日以來全市を色紙と電飾に彩つた七夕祭は地方最大の行事として壓倒的人氣を博した。が殊に三丁目大通りの壯麗な七夕飾りには地元民すら豫想外の大掛りに驚かされた。夜の新舗装道路は近郷からの人出もあつて盆踊以上の賑ひを見せ早くも平の七夕祭は常磐線一帯の町村より名物視されるに至り昨日茨城縣平瀧町の有志五十餘名の一行は今十七日自動車で平町に乘込み充分視察したいと三丁目分團に申込んで來たので喜んだ同分團では

つた  
上小川道路 上小川  
改修費可決 村では  
昨日午後一時より村會を招  
る筈である

### 新チームを編成 練習を開始

來夏に備へる磐中野球部  
あす新人對平俱樂部戦

縣下野球大會に宿敵平商の  
ために遂に不覺の敗れをと  
つた磐中野球部では來春小  
野、阿部(兄)百澤、草野、  
柏原ら五名の現役選手を送  
り出すといふ致命的打撃を  
受けるのが之に力を落すこ  
となく早くも來年の大會に  
備へて新チームの編成に餘  
念ないが阿部(弟)石川、若  
松、高羽、秋山らが主力と  
なつて練習を開始したが明  
日午後二時から磐中球場で  
之ら新編成チームが平俱樂  
部と一戦を交へるが五名の

### 果して内郷の 連覇成るか

白熱戦を期待

昨年の戦跡を偲ぶ  
豫選會を開き出場選手を決  
定必勝を期して猛練習中で  
各町村ともその力量接近を  
傳へられてゐる折柄今年も  
非常な白熱戦を展開するも  
のと期待されてゐるが昨年  
の戦跡は内郷が三十六で優  
大會も愈々一ヶ月後に迫つ  
たので各青年團共それな

### 迫る青年競技

### 参加十二チーム 勿來軟式野球大會

組合せ決定愈よ明日舉行

既報勿來野球協會主催軟式  
野球大會は明十八、十九の  
兩日勿來川部兩小學校に開  
かれるが参加十二チームの  
組合せ左の如く決定した

- 植田—上遠野  
全植田—平瀧  
川部—勿來  
大倉—磯原  
日炭—三振

勝し湯本、平、泉、小名濱  
好問等の順位であつたが今  
年も亦番狂はせのない限り  
結局僅かの差で優勝を争つ  
た内郷、湯本に續いて平の  
三巴戦を演ずるに至るべく  
二年連勝の内郷の如きは陸  
の王者を誇つて連勝の記録  
を獲得すべく早くも田子主  
將コーナーの下に練習に寧日  
ない由である、因に昨年度  
各種目の一着の記録は左の  
如くである

- ▲百米 一一秒四 小名
- ▲湯本 一〇秒五
- ▲三秒〇九 内郷永山源一
- ▲一萬米 三十七分一〇
- ▲湯本開場喜平治 ▲千
- ▲米瑞典繼走 二分一〇秒
- ▲六 内郷チーム

は來月舉行される郡下青年  
團競技大會を控へて選手を  
決定、團体的練習に入るべ  
く明十八日午後七時よりマ  
ルトモホールで幹部會を開  
き選手選衡に就き協議する

### 飯米に窮し 拂下米申請續々

舊盆を控へ悲惨な農家

石城地方の農村では農作物  
の不作と安値から自家用の  
飯米に窮して居る悲惨な状  
態にあるが之が對策として  
目下各村より政府米の拂下  
申請が多く昨日も川部村よ  
り百六十俵、錦村三百八十  
俵等を申請したが今後も續  
出する模様である

### 開業

石炭 一俵十八錢ヨリ

### エビスヤ燃料店

平町十五丁目 電話 四六番  
東洋火災保險株式會社平中央代理店

### 耳鼻咽喉科専門

平田町(電話六九一番)

### 山内醫院

病室完備 自炊便有 醫學士 山内亨 吉

### 魚釣中の息子の頭へ

## 實父の死體が降る

### 鐵橋通行中列車に勿飛れ

湯本町字八仙入山炭坑坑夫長屋居住市郎父小口秀吉(六)はけふ午前八時頃磐崎村藤原川に釣りに出掛けたが目的地近くの同村西郷地内藤原川に架つた常磐線鐵橋を通行中湯本着九時二十

二分下り列車が轟進して勿ね飛ばされ藤原川の河原に落下即死したが丁度そこには息市郎が公休を利用して同じく釣りに来てゐたが親の變り果てた姿に呆然たる有様であつた

### 可愛い小僧さん

## けふお目見得

兒童の夏休み實習始まる 平の兒童は僅か一名

既報平職業紹介所では來春卒業と同時に就職せんとする小學生のために夏休みを利用して希望生徒を本日より一週間平町の各種商店に依託し職業の實習に當せることは既報したが第一日目の本日は受持先生に連れら

れた郡下の希望生徒四十二名は四家紹介所長の注意を受けてから市内各種商店に一名づゝ短期奉公に入つたが學校別で見ると好間校廿三名、湯本十六名、内郷二名、平第一一名の順である

### 父を殺して

## 豪遊した男

懲役一年を求刑さる 偽電「父死亡」で香奠詐欺

勿來町大字關田字南町一〇五前科二犯鍛冶職眞船義道(三)は去月九日内縁の妻渡部キヨミより勤め先茨城縣助川町赤澤鐵工場宛父死亡

の偽電を打たしめ主人及び同僚から悔金十餘圓を騙取した外同町待合君の江事長瀬すわ方に登樓「此程親父が亡くなり財産は全部俺の

### 事故を起し乍ら

## 届出を怠る運轉手

平署で檢舉取調べ中

四倉町字中田酒井自動車店方運轉手加賀茂次郎(三)は本月七日貸切自動車を運轉して平町より四倉町に向ふ途中中神谷村字鹽地内國道で前方を通行中であつた内郷村大字白水城炭礦の宮島

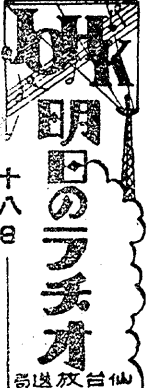
ナルコボンスポコラミン慢性中毒患者の一治験例に就て内科部長、平賀一忠、丹毒に對するカンチロス療法に就て、外科部長坂本真一郎

### 難病を悲觀

## 若者猫自殺

手當の甲斐なく遂に絶命

飯野村大字谷川瀬字吉ノ作居住農市太郎長男遠藤勝平(三)は昨十六日午後十一時頃自宅で多量の猫いらずを嚙下して苦悶中を父親が發見手當を加へたが今十七日



今晚の部 野領也東京生糸と人絹福本福三大阪帝國人絹株式會社社長 久村清太郎 後八、五五チエロと管絃樂 桃谷演奏所より中繼大阪放送交響樂團 後九、三〇時報 ニュース 氣象通報 番組豫告

明日の部 前六、三〇 夏期英語講座 (三)の三 清野鳴一郎 前七、二〇 聖典講義 高島米峰 前七、四〇 六年生のおさらの時間「地理」第四日 伊藤徳郎 前八、〇〇 國文學講座 和歌(二)岡崎義恵 前八、五〇 野球試合實況 (第廿回)全國中等學校優勝野球大會 甲子園より中繼 前九、一〇 料理献立 中 前九、三〇 家庭講座 家庭と童話 石川進

後〇、〇五尺八と俚語 小池玲山外大勢 後六、〇〇 子供の時間 童話劇 うづらごらも 名古屋雛菊童話會 後六、二五 趣味講座「與の細道を辿る」(終)北陸路松瀬青々 後七、三〇 講演 京城より朝鮮産業の姿と動き朝鮮商工議所會頭賀田直治 後八、〇〇 清元清元延古 摩外 後八、三〇 獨唱とピアノ 小原威子 佐藤みさほ 後九、〇〇 時事解説 駐伊特命全權大使松島肇

### 販利總代人選

## 舉立會人決定

既報來る廿日町役場で執行される石城販賣利用組合の平町總代人選舉立會人に就いて同組合では豫てより選衛中であつたが此の程三丁目大谷久藏、仲間町佐藤伊太郎の兩氏が選任された

### 軍人後援

普及講演 本縣では七日勿來町小學校に於て軍人後援事業普及時局訓演會を開催するが講師は海軍中將飯田久恒氏である

### 喜多流謠曲と仕舞の

## お稽古をお勧め致します

喜多流 謠曲 仕舞 白土會 詳細は本會へ御問合せ下さい 電一二七番

浄國院新盆に相當候處甚だ勝手がましく候へども提灯その他供物等一切御辭退申上候間御諒承願上候

平町鍛冶町 施主 國府田直良

# 浮名地帯の近新音頭

(藤原上院及上院)

田邊南龍(作)  
山本英春(書)

一一二

藤兵衛に水浴せ  
酷い奴があるもんだと思  
つて

「水浴びせの挨拶が済みま  
したから、モウ宅へ歸りま  
した」

「藤兵衛に少し用があつて  
来たんだから、チヨウクラ  
藤兵衛を呼んで来てお呉ん  
なせえ小荷は江戸幡隨院の  
門前に居る、日本六十餘州  
の大名に人入をして居る元  
締塚本長兵衛の子分で深川  
海邊大左町の左源二の伴、  
源太郎と云ふものだ、長兵  
衛が藤兵衛に水浴びせて  
近付きになるによつて、呼  
んで来て呉れ、今長兵衛さ  
んが後から来るによつて、  
水を浴びても濡れねえやう  
に、傘を被るとも髪を着る  
ともして来て呉れるやうに  
さう云つて呉んなせえ、俺  
アその前觸に來ました、こ  
りやア詰らねえものだが、  
酒を二駄片馬持つて來まし  
た、藤兵衛に飲まして遣つ  
てお呉んなせえ」

大變な奴が來やアがつた  
と思つて  
「少し待つて下さいまし」  
と急いで藤兵衛のところ  
へ人をやる。これを聞いた  
藤兵衛が長兵衛さんは、  
で數萬人の頭になつていな

さる人だ、そんな輕忽な事  
を云つて來る筈がない多分  
俺に遺恨のある奴が、そん  
な事を云つて來やアがつた  
んだらう、宜し面の皮をヒ  
ン剥いてやらう」  
と云ふ了簡で十人ばかり

した源太郎  
「ヤイ、一服お上んなさ  
いと云つたつて、煙草盆は  
かりぢやア飲めやアしねえ  
煙管と煙草を出さねえぢや  
ア飲めねえぢやアねえか」  
「恐れ入りました」  
「茶ア持つて來い」  
「はい」  
「此處の家は誰が拵へたん  
だ」  
「番匠さんが拵へました、  
江戸で大工、京地で番匠さ  
んと申します」  
「誰が壁エ塗つたんだ」



の子分を連れて鹿島屋を指  
して參りました、此方は源  
太郎

「左官さんが」  
「これでかい……正面から  
見ると壁らしいが、横から  
見ると谷があつたり山があ  
つたりして居らア、何で塗  
つたんだ」  
「鏝で塗つたんだ」  
「ハ、ハ、ハ、俺ア手で塗つ

たのかと思つた、打壞して  
了へ、俺が塗直してやらう  
……」  
「イヤ其れには及びません  
と云つて居るところへ藤  
兵衛子分を連れて參り皆々  
様へ挨拶をして上へ上る  
「このお方が長兵衛さんの  
子分の源太郎さんでござい  
ます」  
「さうですか……私が朝比  
奈藤兵衛……」  
「さうか……長兵衛さんが  
云ふにやア今水浴びせて  
知己になるから、塗笠を被  
るとも箕を着るとも、充分  
準備して待つて居るとかう  
命令られて來たんだが藤兵  
衛さん何うする積りだ」  
「左様で……唯今篤と勘考  
いたして、長兵衛さんにお  
目に掛つて御挨拶をいたし  
ます」  
「今挨拶が出来ねえのか」  
「ハイ唯今少々御挨拶が成  
兼ねますから、篤とマア親  
類のものと相談をして、御  
挨拶をしやうと思ふんで」  
「藤兵衛さん、貴郎の後に  
ゐる十人ばかりのものは子  
分かい」

「ハ、ハ、ハ、俺ア手で塗つ

**外科**  
X光線科  
性病科  
性病科  
科科  
入院隨意

平町田町  
**安齊外科醫院**  
電話四七五番

● 季節鳥料理 ●  
やな川  
はぎなう  
平町  
魚榮へ  
配達迅速  
電話四二四

木村外科醫院  
平町六丁目橋際  
電話三〇九番

かつを  
塩から  
夏!!!  
道歩く紳士の足も!  
は白靴にかじやく

魚問屋  
最優最大日本生命平代理店  
志賀盛榮  
平四丁目(電二一三)

夏!!!  
道歩く紳士の足も!  
は白靴にかじやく

A 先づ何よりも白靴  
足も軽けりや心も躍るよ  
B 成程麥藁をかぶつて黒靴で  
ちよつと……へんだね  
断然安い菊地の白靴一九三四年型に  
すると云つてやつたがね  
四丁目驛通り  
既製菊地靴カバン店  
電話六五九番

父白鴻院新益佛事上小川村生家に  
於いて相營可申候處誠に勝手乍供  
物一切辭退申上候

白井一郎

平町鍛冶町七

**中村齒科醫院**  
平町鍛冶町七